

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	bambino		
○保護者評価実施期間	令和8年 2 月 23 日		令和8年 3 月 2 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 14名
○従業員評価実施期間	令和8年 2 月 23 日		令和8年 3 月 2 日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	HUGシステムを使用し、日々の記録をとっている。それぞれ個々の記録として継続している事、新しく出来るようになった事、以前と変化がある場合などを記録として残し、定例ミーティングの議題として職員間で共有することで比較・検証・改善に努めている。 システム上で管理しているため、職員はいつでも振り返ることができるようになっている。	ケア記録機能を活かし、些細な事でも記録として残すことでより細やかな支援に繋がると考える。

2	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの興味関心に沿った活動を提供している。</li> <li>・ヨガ、ねんどなど、専門の講師を招致して質の高いプログラムとなるよう心掛けている。</li> <li>・同じプログラムの中でも個々の特性に合った方法を提案するなど工夫をしている。</li> </ul>	
3	新事業所に移転した際にリハビリ室、静養室を設置し、こどもの状況に合わせて活動を行えるようになっている。	リハビリ室にはオーシャンスイング（ブランコ）を設置し、こどもの状況に合わせて活用し、ゆったりと心を落ち着かせる機会を設けている。また、音や他児の行動が気になり落ち着かない様子の子供には職員が付き添い静養室で過ごすなど、動と静の活動を分け、それぞれが安心して過ごせる場を提供している。	OT職員の指導により、より専門性を高めた活動が出来るようになる。リハビリ室には鏡があり自分の動きを確認できるため、外部からの講師を招くなどし、様々な活動、経験ができる機会を設けていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援や、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援が行えていない。	保護者からのニーズがないため保護者会を開催したり、保護者同士で交流する機会を開催したりしていない。	従業員が行っている虐待防止委員会や感染症防止委員会を保護者にも参加を呼びかけ事業所の活動を知ってもらうとともに、保護者同士の交流の機会とする等、工夫していきたい。
2			

3			
---	--	--	--